

長目塚古墳発掘調査70周年・県史跡指定60周年
出土品熊本県重要文化財指定記念シンポジウム

中通古墳群を考える

— 長目塚古墳の温故知新 —

【基調講演】

村上恭通氏（愛媛大学社会共創学部教授）

『弥生時代から古墳時代における鉄生産と阿蘇』

【報告】

杉井 健氏（熊本大学文学部 准教授）

木村龍生氏（熊本県教育庁教育総務局文化課 参事）

宮本利邦氏（阿蘇市教育委員会教育部教育課 主任）

池浦秀隆氏（宗教法人阿蘇神社 権禰宣）

【パネルディスカッション】

『中通古墳群を考える』

コーディネーター 田中裕介氏（別府大学文学部 教授）

パネラー 各報告者



熊本県指定重要文化財（考古資料）
長目塚古墳出土品

日時：令和元年12月14日（土）

午前10時開始～午後4時10分終了予定

会場：阿蘇市農村環境改善センター（阿蘇市内牧976-2）

参加費：無料

主催：阿蘇市教育委員会 共催：熊本大学

後援：熊本県・熊本県教育委員会・宗教法人阿蘇神社

熊本県文化財保護協会・肥後考古学会・熊本古墳研究会

長目塚古墳発掘調査70周年・県史跡指定60周年
出土品熊本県重要文化財指定記念シンポジウム

中通古墳群を考える

-長目塚古墳の温故知新-

熊本を代表する古墳群「中通古墳群」。

今年はその中で最大の古墳「長目塚」が発掘調査されて70周年。古墳群全体が熊本県の史跡に指定されて60周年となります。そして今年3月には70年前の発掘で発見された出土品が熊本県重要文化財に指定されました。

これらを記念し、地域が誇る文化遺産「中通古墳群」について阿蘇の歴史・考古学研究に携わる研究者がこれまでの研究成果を振り返りながら、70年前の河川改修に伴って県内で戦後初めてとなった行政実施の長目塚古墳発掘調査の意義と将来の文化財保護・考古学研究に中通古墳群が果たす役割を考えます。



発掘調査直前の長目塚古墳（昭和24年撮影：坂本経堯氏）
河川改修で消失した前方部が残っている



調査団長の坂本経堯氏を囲んで発掘調査に従事した地元の
中通青年団との集合写真（昭和24年撮影：園田松三氏所蔵）

開 場・受付開始：9時30分～

開 会・趣旨説明：10時～

基調講演：10時30分～11時30分予定

村上恭通氏（愛媛大学社会共創学部教授）

『弥生時代から古墳時代における鉄生産と阿蘇』

休 憩

報 告：12時45分～15時

杉井 健 氏（熊本大学文学部准教授）

木村龍生氏（熊本県教育庁教育総務局文化課参事）

宮本利邦氏（阿蘇市教育委員会教育部教育課主任）

池浦秀隆氏（宗教法人阿蘇神社権禰宜）

パネルディスカッション：15時～16時10分予定

コーディネーター 田中裕介氏（別府大学文学部教授）

パネラー各報告者

テーマ『中通古墳群を考える』

【お問い合わせ先】

阿蘇市教育委員会 教育課 社会教育係

〒869-2695 熊本県阿蘇市一の宮町宮地504番地1

電話 0967-22-3229 FAX0967-22-5205

<http://www.city.aso.kumamoto.jp>